

育ネットつなん

津南町教育委員会

育ネットつなん事務局

『6年間で体系化した探究学習』～津南妻有学～

県立津南中等教育学校 校長 関口 和之

近年、情報化やグローバル化、人工知能（AI）などの科学技術の発展、そして新型コロナウイルスなど、未来を予想することが困難な時代に入っているなかで、変化に対応していけるたくましい人材が必要になってきています。

学校においても、先生に言われたことを指示通りにやる勉強から、自分で課題を見つけて、考え、解決していく学びへ変わろうとしています。このような「探究する力」を高める学びを行っているのが、総合的な学習の時間（高校では「総合的な探究の時間」）です。

津南中等教育学校では、6年間を見通した教育計画を立てられるメリットを生かして、探究学習「津南妻有学」に力を入れて取り組み、成果を挙げています。

1年生

津南妻有地域の様々な地域資源を、ジオパークやSDGsと関連づけながら、五感で満喫する。

2年生

「仕事図鑑」の作成をとおして、津南妻有地域で生きる人々の生き様を学ぶとともに、自己の生き方なり方を探究する。

3年生

クエストエデュケーションと呼ばれる教育プログラムを利用して、固定観念を打ち破るアイデアを生み出す喜びを実感する。

4年生

ビジネスプランや起業について学び、本格的に地域探究に取り組む。日本政策金融公庫の高校生ビジネスプラン・グランプリに応募する。



令和3年度に行われた植樹会

5年生

地域に貢献するレベルまで探究を深めてアクションを起こすとともに、各種コンテストに応募する。

6年生

「津南妻有学」を総括して各自の進路に生かすほか、テーマを下級生に引き継ぎ、下級生を支援することで、積み重ねを重視する。

令和3年度から「津南中等教育学校を支援する会」の活動の一環として、探究グループへの人的支援及び経済的支援をいただいております。より具体的な取組を行う事ができるようになりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

引き続き、6年間で将来の夢を見つけて「夢の実現」につなげる学校、地域と連携した探究学習を軸に特色化を推進する学校として、子どもたちや地域の方々からの関心を高めていただけるよう努めてまいります。

津南町みらい教室 7月7日・8日

津南中1年 大口 ましろ

英語でパイレーツの説明をするのが、すごく難しかったです。英語とジェスチャーと絵だけで小学生に伝えるのが大変だったし、難しかったです。でも、パイレーツでは小学生と中学生で仲良く、協力しながら楽しくできたのでよかったと思います。小学生と仲良くなれたのもすごく嬉しかったです。すごく楽しかったです。

津南中1年 久保田 里桜

私は、班で協力して英語で説明するのがすごく難しかったけど、何回もジェスチャーをして伝えられたのがすごく嬉しかったです。練習は3回くらいしかできなかったけど、班の人が真剣にやっていたすごいと思いました。スタッフもパイレーツを本気でやっていて、こちらも楽しくなりました。小学生とも積極的に話をして楽しかったです。

津南中1年 反り目 新汰

みらい教室で楽しかったことは、パイレーツで小学生に教えたことと、たくさん遊んだことです。小学6年生に丁寧に教えられて良かったです。他には津南小、上郷小、芦ヶ崎小の人と仲良くなれたことも良かったです。みんなが来年、津南中学校に入学してくれるのが楽しみです。



全員集合!!



カヤック体験

「チームワーク」

上郷小6年 高波 柚子姫

ほとんどの活動でチームワークが必要でした。始めは、グループのみんなの意見や行動があまりかみ合わず、合わせるのが難しかったです。でも、活動をくり返していくうちに、みんなのことが分かってきて、いろいろなことが簡単にこなせるようになりました。友達もできて、中学生とも楽しくできたので、中学で会うのが楽しみです。

「新しい友達」

上郷小6年 河田 泰輔

ぼくは、初対面の人に話しかけるのが苦手なので、すごく緊張していました。同時に、わくわくしてもしました。ローロープスでロープを渡る時、一人の男の子が「いっしょにやろう!」と声をかけてくれたのがうれしかったです。この時声をかけてくれた子とは、その後の活動でも会話をし、友達になりました。うれしかったです。



ローロープス

「みらい教室の感想」

津南小6年 小林 義周

2日目は、ボルダリングをしました。体を支えるのが難しかったです。もう一つの活動「パイレーツ」は、ボールをとって陣地に入れていくゲームです。入れたら5ポイントとれる「チキン」を1回だけ入れることができました。でも、またとられてしまい、悔しかったです。中学生や上郷小や芦ヶ崎小の小学生と仲良く交流できて良かったです。



ボルダリング



パイレーツ

みらい教室の感想

津南小6年 南雲 姫夏

2日目は、中学生と協力して「パイレーツ」というゲームをしました。やってみると私たちのチームは、とてもチームワークがよく、楽しく活動ができました。来年、みらい教室があったら、私が中学生として小学生に英語で教えることになります。英語が上手く話せるように、今から勉強を頑張りたいです。

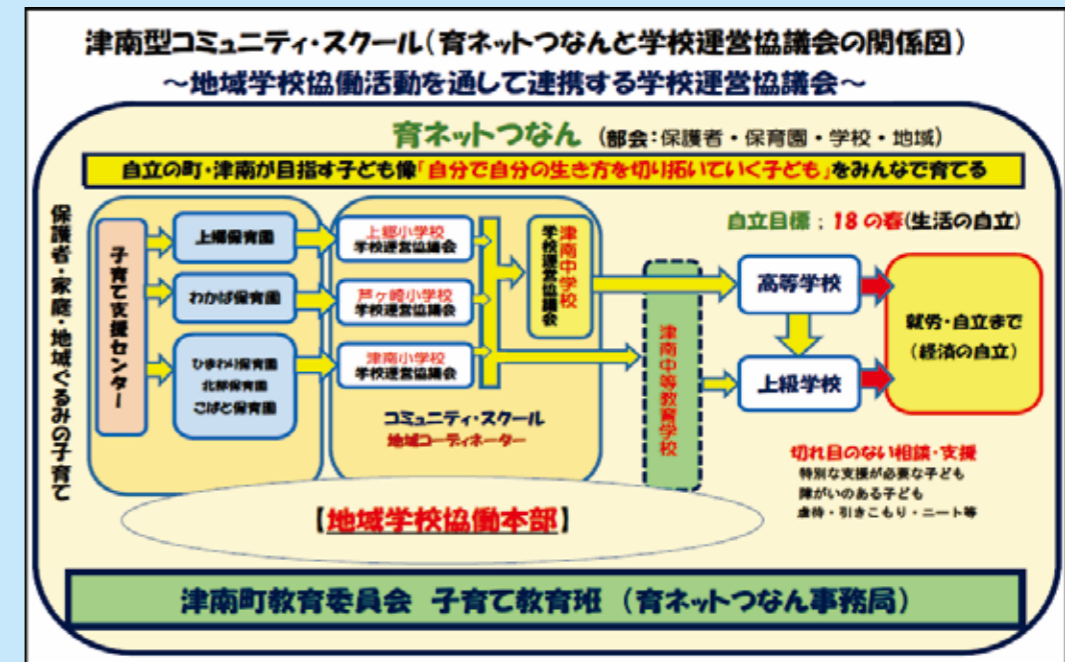
「みらい教室の感想」

芦ヶ崎小6年 鈴木 愛琉

私は、このみらい教室で少しだけ英語が分かるようになったし、友達も増えたと思います。1日目では、初めて会う人と自己紹介をしたり、協力して遊んだりして仲を深められました。ローロープスの誕生日順に並ぶミッションでは、誕生日を聞いて、こしたり、こしてもらったりしました。ボルダリングでは、相手と会ったらジャンケンをするミッションで、応援してあげて落ちたり負けたりしても、「おつかれ!がんばったね。」などの声をかけあったり出来ました。2日目のカヤックは、ぶつかってしまった時は、おしてあげたり、こいで移動してくれたりしながら他の班との仲を深められました。この活動で経験したことを、この先の未来につなげて、仲良くなった人と中学校に行った時にもっと仲良くなりたいです。

地域学校協働本部事業とは? *

現在、各学校で取り組まれているコミュニティスクール（CS:学校運営協議会）の独自事業やボランティア活動を、学校の垣根を越えて津南町の小中学校全体の教育活動に対応した事業として拡大していく構想が「地域学校協働本部事業」です。現在、各校 CS から育ネットつなん全体会議に地域コーディネーターの方々をご推薦いただき、事業推進委員会を立ち上げる準備を進めています。今後、教育ボランティア等で町民の皆様のご協力を募っていきたく考えています。



津南町教育委員会 子育て教育班 (育ネットつなん事務局)

令和4年度 育ネットつなんの活動について

幼少期からのよい生活習慣形成に向けた『共通実践事項』

I 早寝・早起き・朝ごはん 運動を通して子どもの心身の健康を守る

- ① 家族の会話を増やし「メディアコントロール」
- ② 毎月19日は「食育」「ノーメディア」推進

II あいさつ運動の推進 毎月10日は「あいさつの日」

- ① 町ぐるみの「あいさつ運動」のため組織間での連携継続
- ② 各園校での「あいさつ運動」紹介・大人が率先挨拶
※広報無線で各園・各校の「あいさつ運動」取組紹介

III 郷土に誇りをもち、家庭や地域のために行動する意欲の一層の向上を図る

- ① 家庭・地域の一員として役割を果たす子どもの育成のため学校・家庭・地域が連携
- ② 郷土愛を軸としたキャリア教育と苗場山麓ジオパーク関連活動をつなぐ取組を工夫する

★地域部会

保育園・学校と地域社会を結びつける活動に取り組んでいます。中学生・中等教育学校生のキャリア教育への協力やあいさつ運動、夏休みのラジオ体操への参加拡大などに取り組めます。本年度から地域学校協働本部事業のために、各校の学校運営協議会を代表した地域コーディネーターとともに推進委員会を組織します。そして、学区関係なしに津南町全保育園・小・中学校の教育活動を支援するボランティア活動に参加できる人材の発掘を進めてまいります。

★保護者部会

今年度も新たなデザインと配色で『わが家の約束』に取り組んでいます。各小学校夏休み期間に集中して取り組んでいただくこととしました。また、ゲーム障害やスマホ依存への警鐘を鳴らす情報提供や親子で過ごす時間の使い方の提案などの発信に向けて活動を進めています。これからも、子どもの心身の発育に不可欠な親子の絆を深める時間の使い方について提案・発信を行ってまいります。



令和4年度版
『わが家の約束』

キャリア教育
津南中学校2年生
職場体験学習



津南町教育振興会 集合学習

感染防止対策をして、本年度は低・中・高学年の全てで実施しました。

★保育園部会・学校部会

各園では健康問診表やメディアカードなど独自の取組によって、小・中学校では『津南ヘルスチャレンジカード (THC)』を活用して、「早寝・早起き・朝ごはん」の達成を図っています。「毎月10日はあいさつの日」を合言葉に各園では当番活動として、各校ではのぼり旗を立てて「あいさつ運動」に取り組み地域にあいさつの輪を広げています。郷土への誇りを感じ得るために、なじもんからの講師やジオガイドを招いて地域巡検や調査活動を行っています。本年度は特に大地の芸術祭が開催されるため作品制作のワークショップへの参加やボランティア活動などへの参加など「津南に学び、津南に返す」積極的な取組も行われています。